

子どもたちが主体的に調べ、発見・発信するふるさと学習

～福井をアピール実践～（6年生）

敦賀市立中央小学校

## 【目指す子どもの姿】

- ・自分たちが住んでいる県や町の良さに目を向け、主体的に調べたり、修学旅行を通して実際に体験活動したりすることで、ふるさと福井の魅力を再認識する。
- ・タブレットを活用して調べ学習や番組作りを行うことで、ICTの技能を習得し、伝えたいことを発信する喜びを感じることができる。

## ○福井の魅力を調べよう。（5月）

ふるさと福井の魅力をタブレットで調べ、【自然・食・人・観光・歴史・産業】に分類し、1番興味を持った事について新聞作りを行った。

## ○修学旅行で福井の魅力を実感しよう。（9月）

旅行先の嶺北の見学地について調べ、掲示物やしおりにまとめた。旅行では、芦原温泉での浴衣着付け体験や世界に誇る福井の企業訪問など、普段経験できない活動ができた。

## ○福井の魅力が伝わる番組の作り方を知ろう。（9月下旬）

校区内にあるケーブルテレビのディレクターを招き、番組やCMの作り方を教えていただいた。企画・絵コンテ・撮影編集の仕方や番組作りをする際に配慮すべきことなどを詳しく学んだ。

## ○動画番組「おいでよ！Fukui」を作って発信しよう。（10月～1月）

5月に行った新聞作りをもとに、グループでテーマを決め、3つのCMを繋ぎ合わせた番組を作り、保護者に発信した。

## ○振り返り（2月）



## 成果

- ・福井の豊かな自然、全国的に人気の高い食べ物、世界で活躍するスポーツ選手など、子どもたちが自分でテーマを選ぶことで探究的な学習につながり、新たな福井の魅力を再発見することができた。
- ・体験活動や講師による出前授業で、子どもたちの興味や意欲を一層高めることができた。
- ・発信するという目的意識と相手意識を持って取り組んだことで、見る人がより分かりやすいように音声や字幕にも気を配るなど、創意工夫する楽しさを感じることができた。